

VINCENT LAUDET

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Director of the Oceanological Observatory of Banyuls-sur-Mer (UPMC and CNRS) and professor at the Pierre and Marie Curie University (Paris VI)



1963年生まれのVincent Laudetは、現在バニユルスシュルメールのマリンステーションのディレクターであり、ピエール大学とマリーキュリー大学の教授でもあります。1992年にリールのパスツール研究所で生物学の博士号を取得した後、彼は癌におけるホルモンの役割に取り組んでいる研究チームを設立しました。1997年から2015年まで彼は2008年にリヨンの機能ゲノミクス研究所の所長になる前にENS de Lyonの教授でした。

Vincent Laudetは、現代の生物学に熱心に説明することができ、健康科学からの入力を環境科学および生態学のそれと混ぜ合わせることができる研究者です。彼の研究は、人間の健康の全領域を制御するホルモンが、どのようにして生物の進化と気候変動に適応する能力において主要な役割を果たすかを探究しました。彼は、ホルモンがサンゴ礁の有機体のライフサイクルをどのように制御しているか、そして環境汚染物質がこの複雑な対話をどのように混乱させるかを特徴付けることによって彼の研究を続けました。

フランスの研究の組織化と孤立に対する彼の批判的見解は、彼が多数のフランスおよび外国政府機関のために行った研究の評価の間で得た専門知識によってもたらされました。彼はBanyuls-sur-Merの海洋観測所と協力して、海洋生物学と海洋学における障壁を打破し、市民、市民社会、政治家、産業家が研究活動の一部になれるようにしたいと考えています。彼のスタンスは、私たちの社会全体の将来の組織は事実上この研究の結果にかかっているということです。

彼は国際ジャーナルに200以上の科学論文を発表し、10冊の本の執筆に参加し、そしてより広い聴衆にアクセスするために簡単な言葉で彼の仕事を説明する多数の論文を発表しました。進行中のゲノミクス革命のプラスとマイナスの影響を説明し、私たちの行動の生物学的な隠れた泉を説明するために彼はまたメディアで絶えずいます。

Vincent Laudetは、スタイルと無限のエネルギーに満ちていて、議論とやりがいのある対立を求める飽くなき欲求を抱いています。彼は難しい質問を決して避けないカリスマ的な教師です。彼は複雑な状況を詳細に分析し、それらの重要な要素、それらの制約およびそれらの決定要因を説明しています。Vincent Laudetは、決して癒されることのない知識への渴望を伴う、鋭く建設的な心です。

Topics

- Environment
- Society